

2 持続可能な福祉のまちづくり(基本理念と3つの視点)

須坂市地域福祉計画の基本理念と3つの視点

基本理念

持続可能な福祉のまちづくり

社会の大きな変化に対応しつつ、地域一人ひとりの暮らしを支え、地域福祉の推進を図っていくためには、「持続可能な福祉のまちづくり」が必要です。

地域住民や民間、行政の役割を見直すとともに、「自助」「共助」「公助」の意識をもって、住民主体の助け合いの精神による福祉のまちづくりを目指します。



「安全・安心」「元気」「交流」による住んで良かったまちづくり



3つの視点

自助

自分の責任で、自分自身が行うこと。

- ★自分でできることの実践
- ★健康維持のための運動

共助

自分だけでは解決や行動が困難なことについて、周囲や地域が協力して行うこと。

- ★地域での支え合い運動
- ★ボランティア団体等の連携

公助

個人や周囲、地域あるいは民間の力では解決できないことについて、行政等の公的機関が行うこと。

取り組みの方向性＝多様な主体が支える新たな時代

取り組みの方向性

①市民との協働

まちづくりの主体である住民のみなさんと行政とがよきパートナーとなり、地域住民の目線に立って、ともに考え行動していく、協働による福祉のまちづくりを推進します。

②民間の活力

これからの地域福祉を支えていくためには、行政単独の公的サービスでは充分とは言えません。ボランティアや民間の福祉資源を開拓するとともに、相互の連携を深め、福祉のまちづくりを推進します。

③助け合い起こし

地域福祉の基本は、住民相互の助け合いにあります。行政等の公的なサポートをバックボーンに、住民が主体となって、地域のどこでもイキイキと助け合いが展開されるような、福祉のまちづくりを推進します。

取り組みに向けたイメージ図

